

日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2023年6月12日月曜日

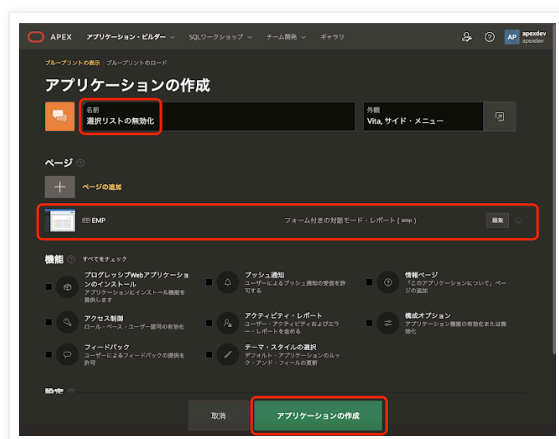
選択リストを無効化すると値が送信されない件について

ページ・アイテムのタイプが選択リストで、そのページ・アイテムを無効化すると、ページ・アイテムの値が送信されません。それがフォームの更新であれば、対応した列の値が空白になります。

以下に例を示します。

サンプル・データセットのEMP/DEPTに含まれる表EMPを使用して、検証に使用するアプリケーションを作成します。

アプリケーション作成ウィザードを起動します。ホーム・ページを削除し、代わりに表EMPをデータ・ソースとした対話モード・レポートとフォームのページを追加します。



対話モード・レポートとフォームのページの追加では、以下を指定します。

ページ名はEMP、表またはビュー、対話モード・レポートを選択し、表またはビューとしてEMPを選択します。フォームを含めるをチェックします。



アプリケーションを作成します。

アプリケーションが作成されたら、フォームのページに選択リストの無効化を実装します。

ページ・デザイナーでフォームのページを開きます。

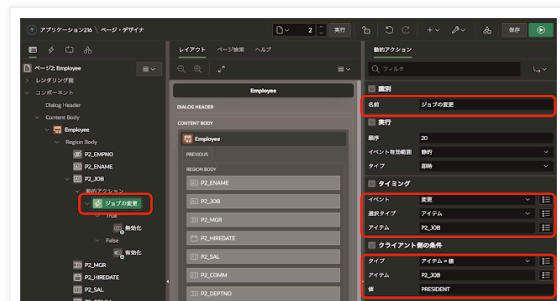


JOBがPRESIDENTのときは、ページ・アイテムP2_DEPTNOを無効化、つまり所属部門の変更を禁止します。

ページ・アイテムP2_JOBに動的アクションを作成します。

識別の名前はジョブの変更、タイミングのイベントは変更、選択タイプはアイテム、アイテムはP2_JOBになります。

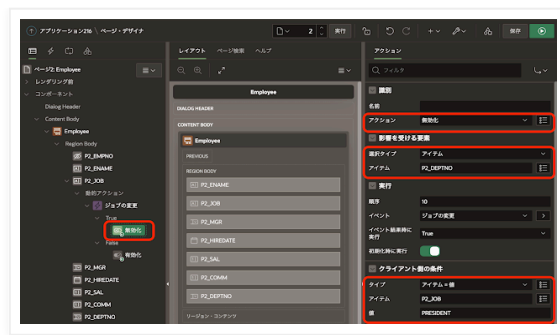
クライアント側の条件のタイプにアイテム = 値を選択し、アイテムとしてP2_JOB、値としてPRESIDENTを指定します。これでJOBがPRESIDENTのときだけ、TRUEアクションが実行されます。



TRUEアクションとして無効化を選択します。影響を受ける要素の選択タイプとしてアイテムを選び、アイテムとしてP2_DEPTNOを選びます。

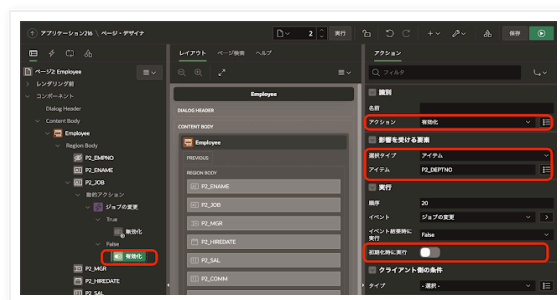
実行の初期化時に実行にチェックを入れ、フォームが開くときにTRUEアクションが実行されるようにします。

クライアント側の条件のタイプにアイテム = 値を選択し、アイテムとしてP2_JOB、値としてPRESIDENTを指定します。動的アクションとしてはP2_JOBがPRESIDENTのときのみ実行されます。しかし、初期化時に呼び出されるときはP2_JOBがPRESIDENTとは限らないため、クライアント側の条件が必要です。



JOBとしてPRESIDENT以外に変更されたときに、選択リストを有効に戻すアクションを作成します。無効化の反対のアクションの作成を実行します。

Falseアクションとして有効化、影響を受ける要素の選択タイプはアイテム、アイテムはP2_DEPTNOになります。実行の初期化時に実行はオフです。

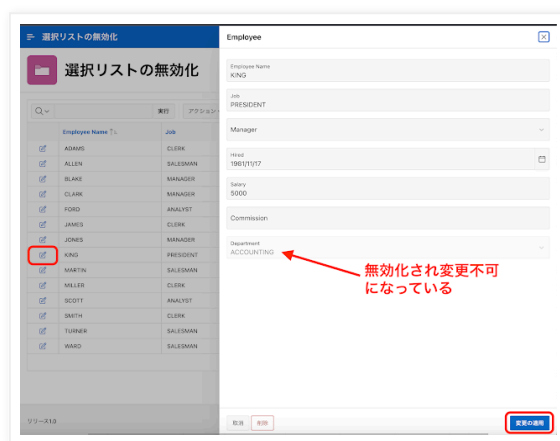


ページを実行し、問題の事象を確認します。

アプリケーションを実行し、JOBがPRESIDENTである従業員KINGを編集します。

Departmentがグレー・アウトされ変更不可能になっていることが確認できます。

値の変更をせずに、**変更の適用**をクリックします。



レポートの表示に戻ります。従業員KINGの列Departmentが空白になっていることがわかります。

選択リストの無効化

選択リストの無効化

Employee Name Job Manager Hiredate Salary Commission Department

ADAMS CLERK SCOTT 19810910 1,100 0 RESEARCH

ALLEN SALESMAN BLAKE 19810123 1,600 300 SALES

BLAKE MANAGER KING 19810501 2,800 0 SALES

CLARK MANAGER KING 19810609 2,400 0 ACCOUNTING

FORD ANALYST JONES 19810717 300 0 RESEARCH

JAMES CLERK BLAKE 19810105 960 0 SALES

JONES MANAGER KING 19810402 2,975 0 RESEARCH

KING PRESIDENT 19810101 5,000 0

MARTIN SALESMAN BLAKE 19810928 1,200 0 SALES

MILLER CLERK CLARK 19820129 1,300 0 ACCOUNTING

SCOTT ANALYST JONES 19820129 3,000 0 RESEARCH

SMITH CLERK FORD 19800707 800 0 RESEARCH

TURNER SALESMAN BLAKE 19810908 1,900 0 SALES

WARD SALESMAN BLAKE 19810202 1,200 500 SALES

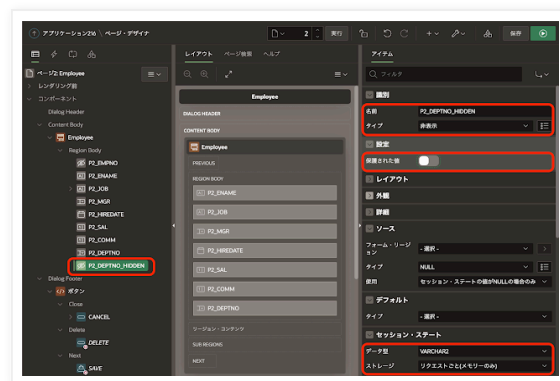
1 / 34

Departmentが空白になる

テキスト・フィールド（HTMLのinput要素）といったページ・アイテムであればreadonly属性の指定が可能で、これを変更を禁止した上で値を送信することができます。しかし、選択リストであるselect要素にはreadonly属性が無いため、同様の設定ができません。

ワークアラウンドとして、無効化した選択リストの代わりとなるページ・アイテム
P2_DEPTNO_HIDDENを作成します。

タイプは非表示とします。動的アクションによって値を設定するため、設定の保護された値はオフにします。セッション・ステートのストレージはリクエストごと(メモリーのみ)を選択します。



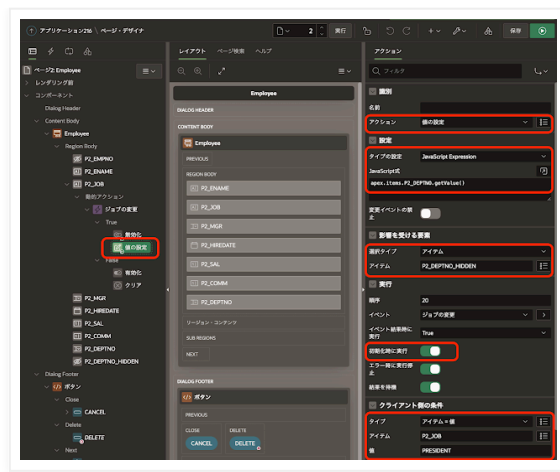
P2_DEPTNOが無効化されるときに、ページ・アイテムP2_DEPTNOの値をP2_DEPTNO_HIDDENにコピーするTRUEアクションを作成します。

クライアントの条件と実行の初期化時に実行は、無効化と同じ設定にします。

TRUEアクションとして値の設定を選択し、設定のタイプの設定にJavaScript Expressionを選択します。JavaScript式として以下を記述します。

apex.items.P2_DEPTNO.getValue()

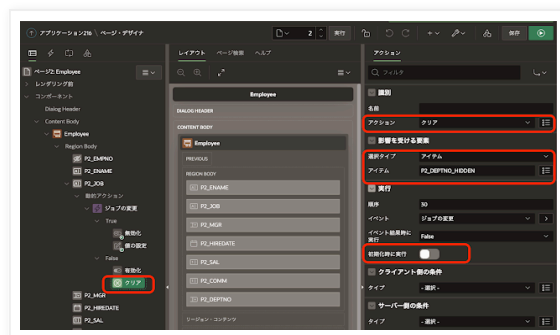
影響を受ける要素の選択タイプとしてアイテム、アイテムとしてP2_DEPTNO_HIDDENを選択します。



これでP2_DEPTNOが無効化されるときは、その値がP2_DEPTNO_HIDDENにコピーされます。

JOBとしてPRESIDENT以外に変更されたときに、P2_DEPTNO_HIDDENのクリアするFalseアクションを作成します。クリアは値の設定の反対のアクションではないため、Falseのノードで**アクションの作成**を実行します。

Falseアクションとしてクリアを選択します。影響を受ける要素の**選択タイプ**として**アイテム**、**アイテム**としてP2_DEPTNO_HIDDENを選びます。



以上で動的アクションの設定は完了です。

サーバー側で、ページ・アイテムP2_DEPTNO_HIDDENをP2_DEPTNOに設定し直すプロセスを作成します。

プロセスを作成し、**プロセス・フォームEmployee**より上に配置します。

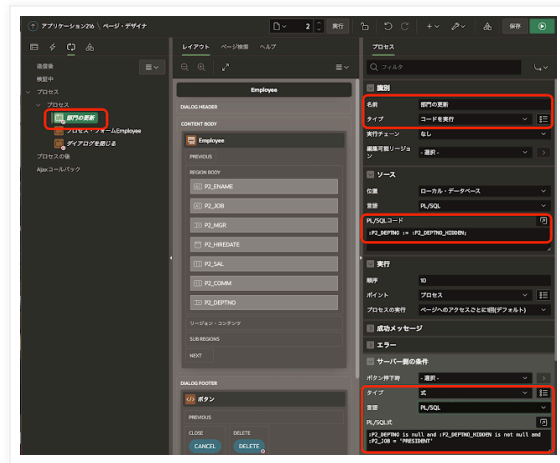
名前は**部門の更新**、**タイプ**として**コードを実行**を選択します。

ソースのPL/SQLコードとして以下を記述します。列DEPTNOの更新にはページ・アイテムP2_DEPTNOが使われるため、P2_DEPTNOの値をP2_DEPTNO_HIDDENの値で置き換えます。

```
:P2_DEPTNO := :P2_DEPTNO_HIDDEN;
```

置き換えを行う条件として、**サーバー側の条件のタイプ**として**式**を選択し、**PL/SQL式**として以下を記述します。JOBがPRESIDENT、ページ・アイテムP2_DEPTNOが送信されていないくて、かつ、P2_DEPTNO_HIDDENに値が設定されている場合にのみ、P2_DEPTNO_HIDDENの値を更新に使用します。

```
:P2_DEPTNO is null and :P2_DEPTNO_HIDDEN is not null and :P2_JOB = 'PRESIDENT'
```



以上で対応は完了です。

今回作成したアプリケーションのエクスポートを以下に置きました。
<https://github.com/ujnak/apexapps/blob/master/exports/disabled-select-list-workaround.zip>

Oracle APEXのアプリケーション作成の参考になれば幸いです。

完

Yuji N. 時刻: 15:12

共有

<

ホーム

>

ウェブ バージョンを表示

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。
こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)

Powered by Blogger.